

JIS

一般用ステンレス鋼ワイヤロープ

JIS G 3557 : 2016

(JWPA/JSA)

平成 28 年 3 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	栗飯原 周二	東京大学
	伊吹山 正 浩	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (デンカ株式会社)
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	榎 本 正 敏	一般社団法人軽金属溶接協会
	太 田 幸 男	高压ガス保安協会
	鎌 土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会 (長岡技術科学大学)
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会 (三菱自動車工業株式会社)
	里 達 雄	東京工業大学名誉教授
	篠 崎 和 夫	東京工業大学
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	中 村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	長谷川 隆 代	昭和電線ホールディングス株式会社
	藤 田 篤 史	日本冶金工業株式会社
	水 沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山 口 富 子	九州工業大学
	山 崎 裕 一	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社銭高組)
	吉 田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.8.20 改正：平成 28.3.22

官 報 公 示：平成 28.3.22

原 案 作 成 者：線材製品協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-5311)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 長井 寿)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	4
5 材料	6
5.1 線材	6
5.2 繊維心	6
5.3 ロープグリース	6
6 製造方法	6
6.1 素線	6
6.2 ロープ	6
7 機械的性質	7
8 寸法及び許容差	22
8.1 素線の径の差	22
8.2 ロープ径	22
9 外観	22
9.1 素線	22
9.2 ロープ	22
10 試験	23
10.1 一般	23
10.2 素線試験	23
10.3 ロープ試験	23
11 検査	24
11.1 一般	24
11.2 より合わせ後の素線の検査	25
12 包装	25
13 ロープの呼び方	26
14 表示	26
15 報告	26
附属書 A (規定) 集合破断力からロープ破断力を算出する方法	27
解 説	29

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、線材製品協会(JWPA)及び一般財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS G 3557:2004**は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成29年3月21日までの間は、工業標準化法第19条第1項等の関係条項の規定に基づくJISマーク表示認証において、**JIS G 3557:2004**によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

一般用ステンレス鋼ワイヤロープ

Stainless steel wire ropes for general purposes

1 適用範囲

この規格は、機械、建設、船舶、漁業などに使用する一般用ステンレス鋼ワイヤロープ（以下、ロープという。）について規定する。

なお、航空機用ワイヤロープ、操作用ワイヤロープ及び構造用ステンレス鋼ワイヤロープには、適用しない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7507 ノギス

JIS G 0201 鉄鋼用語（熱処理）

JIS G 4308 ステンレス鋼線材

JIS Z 8401 数値の丸め方

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS G 0201 によるほか、次による。

3.1

素線

ストランドを構成するステンレス鋼線。

3.2

ストランド

複数の素線をより合わせたロープの構成要素。

3.3

心綱

繊維心、ロープ心及びストランド心の総称。

3.3.1

繊維心

ロープの中心をなす繊維ロープ。天然繊維心と合成繊維心とがある。

3.3.2

ロープ心

ロープの中心をなす、構成が7×7のロープ。記号は、IWRCとする。